

北秋田市民歌の曲が決定

市民歌制定委員長が市長へ報告

北秋田市民歌制定委員会の亀谷健樹委員長が、3月14日に市役所を訪れ、同委員会が市民歌の曲を選定したことを津谷市長に報告しました。市民歌の曲に選定されたのは、鳥取市在住で作曲家の道谷増夫さん（58歳）の作品です。

市民歌は、平成26年度に予定している市制施行10周年記念事業での発表を目指し、平成23年12月26日に市民歌制定委員会が設置され、これまでに検討されてきました。

歌詞については、平成25年7月1日から9月30日まで公募したところ50件の応募があり、審査の結果、奈



▲津谷市長へ選定した楽譜を手渡す亀谷健樹委員長

良県生駒市の岡部剛機（たけし）さんの作品が最優秀賞に選出されています。その後、県内外から作曲の応募があった27人全員に最優秀賞の歌詞を送付し、うち23人から楽譜や音源が寄せられました。審査では5人の委員が全曲を聴き、それぞれ3点ずつを推薦し、さらに議論を重ねて決定しました。

この日、報告に訪れた亀谷委員長は、選定した楽譜を津谷市長に手渡し「市民歌は、子どもから高齢者まで歌われる曲なので歌いやすく、さらに新しい時代の若々しいエネルギーが感じられる曲でありたいとの思いで審査しました。選定した曲は大変優れている作品だと思います」と報告しました。

これを受け津谷市長は「懸案の市民歌ができてよかった」と感謝の言葉を述べ、早速、CDプレーヤーでメロディを聴き「さわやかな風が渡ってくるようで、後半では盛り上がり、市が希望を持てるような格調の高い曲。歌いやすそう、市民にも喜んでもらえると思う。早く演奏や合唱用の楽譜を作って、合併10周年の記念式典で発表したい」と話しました。

34年の歴史に幕下ろす

市立たかのす幼稚園閉園式

北秋田市立たかのす幼稚園（園長・三澤仁教育長）の閉園式が、3月13日に坊沢公民館で行われ、保護者や地域住民など約60人が出席し、これまでの歴史を振り返りながら園舎に別れを告げました。

同幼稚園は、昭和55年、鷹巣町立西幼稚園として開園。平成17年の市町村合併に伴い、名称を北秋田市立鷹巣西幼稚園に変更し、19年には糠沢の鷹巣北幼稚園と統合し現在の園名になりました。しかし、少子化などから園児が年々減少し、来年度の入園希望者が一人であったことから、PTA、幼稚園評議員、地元自治会



▲閉園式で、振りを交えた歌を披露する園児

などの意見も聞き閉園を決めました。これまでの卒園者は682人にのぼります。

閉園式で三澤園長は「園児数は、昭和56年の90人をピークに減少し、今年度は5歳児4人となり、誠に残念ですが、本年度をもって閉園することにになりました。しかし社会状況がどう変わろうとも幼児教育の重要性は不変で、今後ますます教育の柱になっていくと確信している」となどあいさつ。また、津谷市長は「少子化と社会情勢の変化で大きな転換期を迎え、やむなく閉園となったことを誠に残念に思う。皆さんに見守られながら行ってきた幼児教育への努力と情熱は、貴重な財産として生き続けるものと信じている」と述べました。

その後、園児4人が「私と小鳥と鈴と」「たいせつなともだち」がありがとうようちえん」の2曲を手話を交えて元気に歌い、34年の歴史に幕を下ろしました。

また、この日は、閉園式に先立ち、最後の卒園証書授与式が同園で行われ、4人の卒園児たちが、思い出の園舎を巣立ちました。

より良い医療環境を市民と共に考える

北秋田市医療講演会

北秋田市医療講演会が、2月22日に市交流センターで開かれ、約210人の市民らが来場し、講演を聴きながら地域医療について理解を深めました。

医療講演会では、厚生労働省医政局指導課医師確保等地域医療対策室在宅医療推進室長の佐々木昌弘氏が「これからの地域医療と医師確保」と題して講演しました。

開会にあたり、津谷市長は「北秋田地域の医療圏は、まだまだ医師不足です。市としても一生懸命取り組んでいます。行政だけでは力が足りません。市民の皆さんも、同じよ



▲市民ら210人が来場し、医療環境を考えた講演会

うに問題を共有しながら、一緒に考えてもらいたい」となどと主催者のあいさつを述べました。

講演の冒頭で佐々木氏は「北秋田市が、相当な苦労や不安、心配を抱えながら市民病院の建設という決断をされたことは、少なくとも厚生労働省からすれば、大正解な政策だったと考えている。これからの地域医療を考えたときの体制の準備はできているので、厚生労働省でもせっかく整った体制を生かすため、医師確保をサポートしていかなければと思っています」と述べました。

また、地域医療のなかで最大の課題である医師不足については「医師の数は、年々増加している。なぜ医師が少なくなっただよに感じるのかは、昔の医師のように広い分野で診察できる医師が少なくなり、専門的な医師が増えたことが考えられる。また、全国的にも医師が県庁所在地に集中しているため、地域医療計画を立て、解消に向けて取り組んでいく」などと話しました。

聴講者は、時折笑いを誘う佐々木氏の話に聞き入りながら、改めて地域医療の大切さを感じていました。

市長ダイアリー

◇2月16日～3月15日

2月16日(日)▽葛黒火まつりかまくら(葛黒地区)

20日(木)▽中学校北秋田合同スキーチーム全国大会・東北大会出場報告(本庁舎)

21日(金)▽北秋田市行政改革推進委員会 答申(本庁舎)

22日(土)▽北秋田市医療講演会(交流センター)

24日(月)▽鷹巣建設技能組合全建連建築技能競技大会出場報告(本庁舎)▽第3回森吉山ダム水源地域活性化協議会(四季美館)

25日(火)▽北秋田市議会全員協議会(本庁舎)

3月1日(土)▽秋田県立秋田北鷹高等学校第3回卒業証書授与式(同校)

3日(月)▽秋田内陸縦貫鉄道(株)第93回定例取締役会(秋田市)

5日(水)▽平成25年度鷹巣阿仁地域保健医療福祉協議会(ホテル松鶴)

6日(木)▽定例記者会見(本庁舎)▽部長会議(本庁舎)▽第2回北秋田市政財政改革推進本部会議(本庁舎)▽北秋田市チャレンジデー実行委員会(本庁舎)

7日(金)▽省庁訪問(東京都)

8日(土)▽大館・北鹿地区自衛隊入隊予定者激励会(大館市)

9日(日)▽鷹巣中学校平成25年度卒業証書授与式(同校)

13日(木)▽たかのす幼稚園卒園式・閉園式(同園・坊沢公民館)

15日(土)▽綴子小学校平成25年度卒業証書授与式(同校)

▽平成25年度北秋田市スポーツ表彰式(文化会館)



▲3月6日に行われた定例記者会見